

立川市多文化共生都市宣言 記念シンポジウム

10月21日午後、たましんRISURUホール（立川市市民会館）で、昨年12月に市議会で採択された「多文化共生都市宣言」を記念するシンポジウムが開催されました。主催は、たちかわ多文化共生センター（TMC）。約120人の市民の方々が参加しました。

明治大学の山脇啓造教授による基調講演では、地方自治体の多文化共生の取り組みが、2010年代に入って、第2ステージを迎えたのではないかと問題提起がありました。1970年代以降の在日外国人の人権擁護と生活支援から、彼ら・彼女らの地域活動への参加と連携を通して多様性を活かしたまちづくりをめざす時代になった、という提起です。これを受けて、山脇教授をモデレーターに「ちがいを尊重し、ともに生きるまちづくり」というパネルディスカッションが行われました。パネリストは、台湾とスウェーデン出身の二人の女性、立川青年会議所理事長、立川市産業文化スポーツ部長の4人の方々でした。

パネリストが用意した原稿を順番に読み上げるような進行ではなく、「つながり」「共通点」「相互理解」「防災」といったキーワードをめくって、4人の方々が自由に発言するという進め方でしたが、パネリストのみならず、積極的な発言によって、テンポのいい、充実したディスカッションとなりました。

「日本には町内会という地域組織があるのだから、外国人にも働きかけ、加入してもらって、顔の見える付き合いを少しでも広げていったらいいのではないか」、「学校に外国人の子どもが増えているけど、親同士情報交換したり、悩みを打ち明けることができる場所や機会がない。行政や学校に検討してもらえないか」、「外国人を積極的に採用している企業や事業所を、市が『多文化共生企業』として認証して、経済界でも多文化共生の取り組みを促進したらいいのではないか」など、興味深く、活動のヒントになるような発言も多くありました。



パネルディスカッション

最後は、多言語で「宣言文」を読みあげるプログラムで、13カ国語に翻

訳された「宣言文」を、それぞれ21名のネイティブの方が読みあげました。内3名はTIFAの受講生（元受講生



宣言文朗読

を含む）です。ネパール語、マレーシア語など、普段耳にすることのない言葉もあり、まさにポリフォニックな朗読で、充実した内容のシンポジウムを締めくくるのにふさわしいものでした。

土曜教室ボランティア研修会

土曜教室 的場 正道

10月28日（土）、今年度第二回目のボランティア研修会を実施しました。今回はボランティアの奥田氏と橋本氏が講師を務め、以下の内容について学習しました。

- ・「英語／英会話の教え方の工夫～日本語教育の参考の為に～」（奥田氏）
- ・「自動詞と他動詞の文法的理解と教え方」（橋本氏）

奥田氏からは、シャドーイングを取り入れた会話練習やニューステープを活用した Dictation、数字練習のテクニックなど独自の教授法が披露されました。また、ネットで入手できる教材も紹介されました。

橋本氏からは、自動詞・他動詞の判別方法やそれに関係する助詞と文型の使い方などについて



説明がありました。

質疑応答では、教室での実際の指導方法などについて活発な議論が行われました。なお、今回は合計14名（内土曜教室3名）の方が参加されました。今後とも、研修を通じて更なる相互研鑽に努力していきたいと思います。

異文化体験

ベトナム ホーチミンでのボランティアとバス事情

土曜教室 小林 保

8月8日～11月4日、ベトナム・ホーチミンに行き、技能実習生の送出し機関:ITMの第1センターと第2センターの2ヶ所で日本語を教えました。第1センターは週3～4回、第2センターには週1～2回の割合でした。第1センターは実習生約150名、ベトナム人先生は13名(男性:4名、女性:9名)、日本人の先生は私を含め2名で、その他に事務職員など10名程で、第2センターは実習生約50名、ベトナム人先生は女性3名、日本人先生は私だけ、ベトナム人職員は1名でした。

授業は8:15から始まり、午前4コマで、午後は13:00から3コマです。1コマ45分、休憩15分で私は1日当たり3～4コマ教えました。語彙の導入、文法等はベトナム人先生が担当し、私はもっぱら会話でした。入校時毎にクラス分けしていますが、既に日本語を学んでいた人もいて、レベルはかなり個人差がありました。

私の住むアパートはホーチミンのほぼ中心に近いところにあり、



牛丼店前の実習生と私

買い物、食事をする時に非常に便利でした。近所に“すき家”ができ、実習生達と牛丼を食べに行ったりしました。メニュー

は日本とほぼ同じですが、ラーメンもあります。店内は広くゆったりと食事ができ、Wi-Fiに接続してパソコン、スマホなどで長い時間くつろぐこともできました。

第1センター、第2センターともにホーチミン中心部から少し離れた所にあり毎日バスで通いました。バスの待ち時間、バスを降りてからの徒歩の時間を含め第1センターには50分、第2センターには40分程かかり、帰宅時はラッシュのため、更に30分程かかることもありました。バス回数券をITMから支給され、通勤以外にも休日に市内の散策によく利用しました。ホーチミン市内に数多くのバス路線があり、上手く乗り継ぐといろいろな所に行けます。乗車料金は日本に比べ安く、15km以下の路線は約25円(5,000ドン)、15km以上の路線は約30円(6,000ドン)です。ほぼ半数のバスは古く、中にはエアコンの装備もないバスもあり、海外で使った中古車のようなです。一部運転手のマ

ナーに少し問題があり、誰か教育して欲しいとも思います。以下、私が感じたことについて羅列します。

- 乗客が乗り降りしている最中でも、バスがとろとろ動き出す。しっかりと止まって欲しい。
- 運転手が好みの音楽やラジオを車内に流し、まるで自分の車を運転しているようです。時には聴き入るような音楽が流れることもあるが、たいていは耳障りなことが多いです。



バスの車内:全座席は前向き

- 道が渋滞していると、勝手に路線を変えることがある。車内アナウンスをしていたかも知れないが、外国人には全く分からない。降りたいバス停到着しないため、そのまま遠方まで行った事もありました。バスを降り、反対車線で同じ番号のバスに乗り、無事帰ることが出来ましたが、一方通行が多く、バスの行きと帰りで路線が違うこともあり注意が必要です。

悪いところだけでなく、良いところもあります。

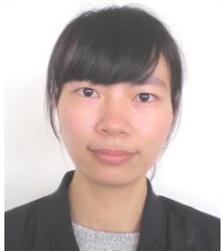
- 若者が年配者を見ると進んで席を譲ってくれるので、通勤時は必ず座れました。
- バスに乗り遅れそうな時、大きく手を振ると待ってくれる親切な運転手もいました。
- 郊外の博物館に行った時のことです。博物館のベトナム名を紙に書き、車掌に見せるとバス停ではないのに、博物館方面の道の入口にバスをとめてくれ本当に助かりました。

渋滞すると路線を変えた運転手も、乗客を早く目的地に連れて行ってあげたい親切心からの行動かも知れませんが、バスが到着しなかったバス停で待つ人や、降りる人のことも考えて欲しいです。

最近、大学生が開発した“BUSMAP”アプリをスマホで良く利用しました。現在位置とバス停が地図上に表示され、バス停をクリックすると付近を走行するバスの路線番号とバスの到着予測時間がリアルタイムに表示されます。上手く使うと市内のいろんな場所に乗り継いで行けて、本当に便利でした。バス停には時刻表がありませんが、このアプリでバスの到着時間が推定できました。Wi-Fiの設置箇所は日本より多く、いろいろな無料アプリをダウンロードすることができ、日本より進んだ分野も多くあります。ベトナムは若い人も多く、今後の発展が楽しみな国です

受講生の故郷紹介（西砂教室）

氏名：グエン ティ ヴァン アイン 20代 女性



故郷：ベトナム タイピン

行路：成田→ノイバイ空港（ハノイ）

飛行機で約6時間

私の故郷：タイピンはベトナムの北部でハノイに近いです。タイピンはきれいで静かな町で、人も親切です。

有名な観光地は神光寺です。このお寺は500年前に作られた木造建築でお正月と秋の初めに大きなお祭りが行われます。そのお祭りではボートレースをはじめとして楽しいイベントがたくさんあります。例えば水上人形劇、民謡、レスリングなどで、とっても面白いです。またタイピンには美しい海辺もたくさんあります。そこで水泳しながらのんびり休むのはとても気持ちいいですよ。皆さんベトナムへ旅行に行ったら一度タイピンに寄ってみてください。私が観光案内してあげます。

氏名：チャン ティ ビック リエウ 20代 女性



故郷：ベトナムの真ん中にある

QUANG TRI

行路：成田→ノイバイ空港（ハノイ）

飛行機で約6時間

私の故郷：私の趣味は料理をすることと旅行に行くことです。ベトナム料理で有名なのはPHOとBUN

BOです。PHOはこめから作ります。味はこくておいしいです。BUN BOは牛肉と米で作る麺で辛い味です。昔から私の国は石油、石炭など資源に富んでいましたが、たくさんとりましたので今はだんだん少なくなりました。私は日本が大好きです。日本の人と景色が好きなので日本語を勉強したいです。

氏名：ロー ティ ヒエン 20代 女性



故郷：ベトナム、ランソン

行路：成田→ノイバイ空港（ハノイ）

飛行機で約6時間、ノイバイからランソンまでバスで3時間

私の故郷：ランソンはいろいろな特産品があります。料理とか酒とか。

酒の中でMAU SON酒はいちばん

有名です。MAU SON酒はMAU SON山の頂上に住ん

でいる民族の人につくられています。手工の蒸留をする1000年の古伝の手段でつくり米からつくられています。MAU SON酒はいいにおいがします。一回のんだら忘れられません。ランソンを訪ねたらぜひ飲んでみてください。

氏名：グエン バン クアン 20代 男性



故郷：ベトナム ヴィンフック省

ヴィン トリオソ県

行路：成田空港（3時間）→ノイバイ空港（約6時間）→車で実家（約1時間）

私の故郷：地理—北はトリエンクアン

省とタイグエン省、西はフート省、南と東はハノイ市に接している。政府のマスタープランによると同省は首都圏に含まれる。省都ビエンエン市はハノイ市中心部から西北に85キロに位置する。

観光—タムダオは霧に包まれており一年中涼しく、松林に囲まれた美しい町。ハノイから86キロ。タムダオ町はフランス植民地時代に避暑地として開発された。100以上のピラやホテルが建てられたが20世紀初めにレンガと石材で建てられたタムダオ教会以外の建物は仏越戦争時代にベトナム軍による焦土作戦で破壊された。1990年代に入ってから再建され、現在は多くの宿泊施設が並び一年中観光客で賑わっている。

特産品：バイン チュン マット ミア 糖蜜の上にゴマを振りかけた餅菓子

バイン ガオ ラン 米からつくった焼きお菓子

チャーコー 砂糖を加えてじっくり煮詰めた緑豆に焼いたゴマをかけたお菓子

氏名：ホアン コン クオン 20代 男性



故郷：ベトナム、ハノイ

行路：成田空港→ノイバイ空港（5時間30分）→自宅（車で約30分）

私の故郷：ハノイはベトナムの首都です。秋は涼しいです。街にはシチョウジュとよばれる花がかおり、ベトナムではとても良い季節です。食べ物といえば世界的に有名な料理フォーを紹介したいと思います。フォーを食べながらシチョウジュ花を見れば天国へいったみたいですよ。みなさん、是非、来てください。

日本語アラカルト

明治時代の言葉は現代語とほぼ同じで、標準的な日本語話者なら、特別な知識がなくても明治時代の口語文を理解することができるようです。江戸時代も似たようなもので、江戸時代後期の戯作に現れる当時の話し言葉に、多少違いはあるものの、充分理解できるレベルのもので、江戸時代以降は音韻も現代語と同じようになっているので、現代人が当時の言葉を耳で聞いても、さしたる苦勞なく理解できるでしょう。明治時代や江戸時代の言葉を理解する妨げとなるのは、文法や文体ではなく、むしろ、文化や社会制度による考え方の違いだと思います。

室町時代の話し言葉は、キリシタン文学や講義録、狂言の台詞などに見ることができず、江戸時代ほどではないにせよ、文字にすれば現代語と似たものとなります。だが、現代人が室町時代の言葉を理解するのが容易かといえば、そうとは限らないのです。なぜなら、室町時代と現代とでは、音韻に違いがあるからで、現代人が当時の言葉を耳で聞いても殆ど分からず、その言葉に慣れるには長い時間がかかるでしょう。

＜インターネットから引用し、
一部加筆＞

☆TIFA 会員動向☆

【入会者】

木曜教室：なし
土曜教室：なし
西砂教室：大橋由貴

【退会者】

木曜教室：なし
土曜教室：なし
西砂教室：なし

世界ふれあい祭りのバザー

副会長 近藤 誠

11月4、5日 昭和記念公園みどりのゾーンを会場とした恒例のふれあい祭りに今年もTIFAがバザー用に大量の出品物を抱えて参加しました。出品物はボランティア、受講生がリサイクル用にわざわざ保管してあった物や、友人・知人から出品用にと、もらい受けたもので衣類を中心に日用雑貨品まで数十種類にも渡っていました。祭り前日の3日には保管先から学習館まで運び出し、数人で100円刻みの値付けを行いました。その後再び分散して保管先に預け、翌朝8時にはそれぞれが会場内TIFAブースまで届けられました。

ここでのバザーこそがTIFAの実行力の見せどころ。2日間で延べにすれば30人ものボランティア、そして数名の受講生も加わって出品物の販売に邁進していました。販売であるが故の物品説明はもちろんのこと、値引き交渉、販売促進のセールス・トークも手なれた人はもはやプロの「あきんど」そのものの趣さえ感じられたほどでした。周辺ブースからも威勢のよい売り掛け声や、若く張りのある呼び込みの声も飛び交い、時折に肉を焼く匂いもコーヒーやチャイの香りも漂い、また民謡流しの踊り手やらチンドン楽隊までもが登場、TIFAのブース一帯はさながら古の交易広場と化したが如くでした。祭りの最終日にTIFAバザーの総売り上げは6万8千円を叩き出しました。



☆☆今後の予定☆☆

- ・会長（正・副）立候補者募集：11月中旬
- ・役員選挙：11月第3週にボランティア名簿と投票用紙を配布、12月第2週までに投票。
木曜教室 5名、土曜教室 6名
西砂教室 1名
- ・イヤーエンドパーティー：12月16日（土）
柴崎学習館 地下 講堂
- ・木曜教室ランチパーティー：12月中旬
- ・役員選挙結果発表：1月6日（土）（予定）
- ・会長（正・副）及び各部長決定：1月27日（土）
運営委員会承認、互選